

2019年12月期 第2四半期 決算説明

サイオス株式会社
(東証二部 : 3744)
2019年7月31日

2019年12月期 第2四半期 業績の概要

2019年12月期 第2四半期 業績（連結）



(単位：百万円)

	18年12月期 1-2Q実績	19年12月期 1-2Q実績	差額	前年同期比
売上高	6,270	6,914	+643	+10.3%
売上総利益	2,056	2,124	+68	+3.3%
営業利益	127	38	△89	△70.0%
経常利益	131	70	△61	△46.5%
親会社株主に帰属 する四半期純利益	79	△20	△99	—
EBITDA	166	82	△83	△50.3%
ROIC(年率換算)	8.1%	2.4%	—	—

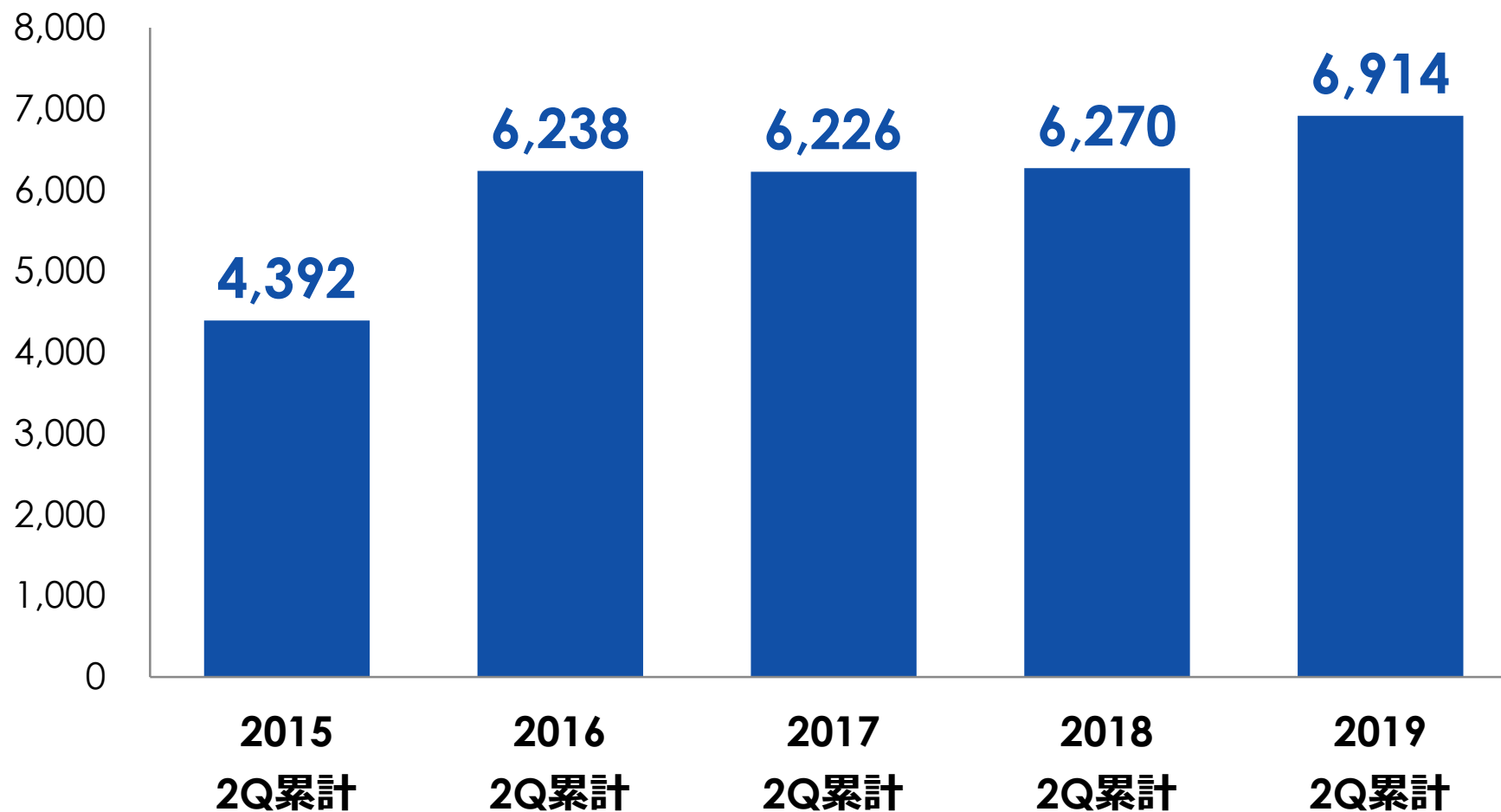
※EBITDA・・・営業利益+減価償却費+のれん償却額

※ROIC・・・営業利益×(1-実効税率)÷(有利子負債+株主資本)

第2四半期 連結売上高の推移

過去最高の半期売上高を達成

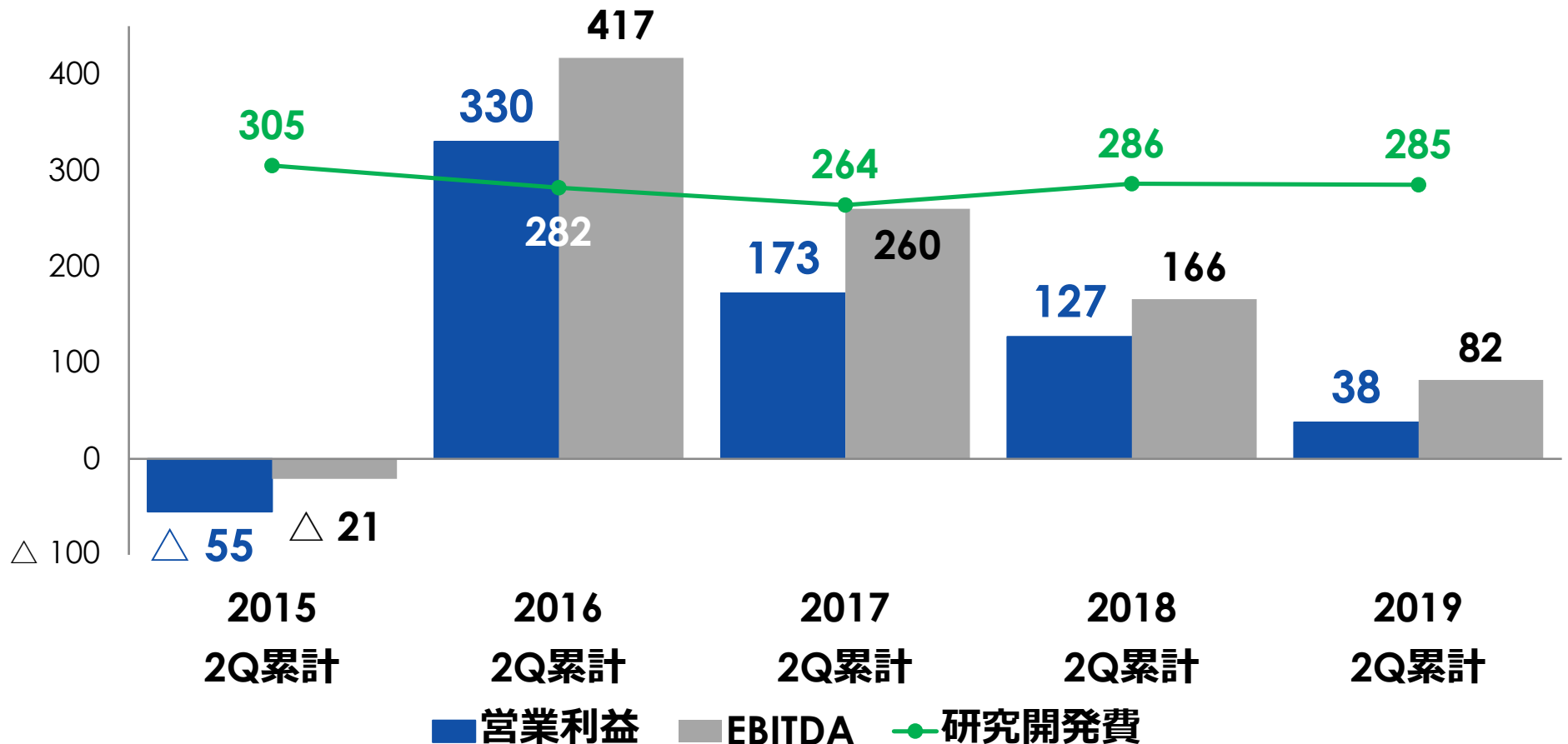
(単位：百万円)



第2四半期 連結営業利益・EBITDA 及び研究開発費の推移

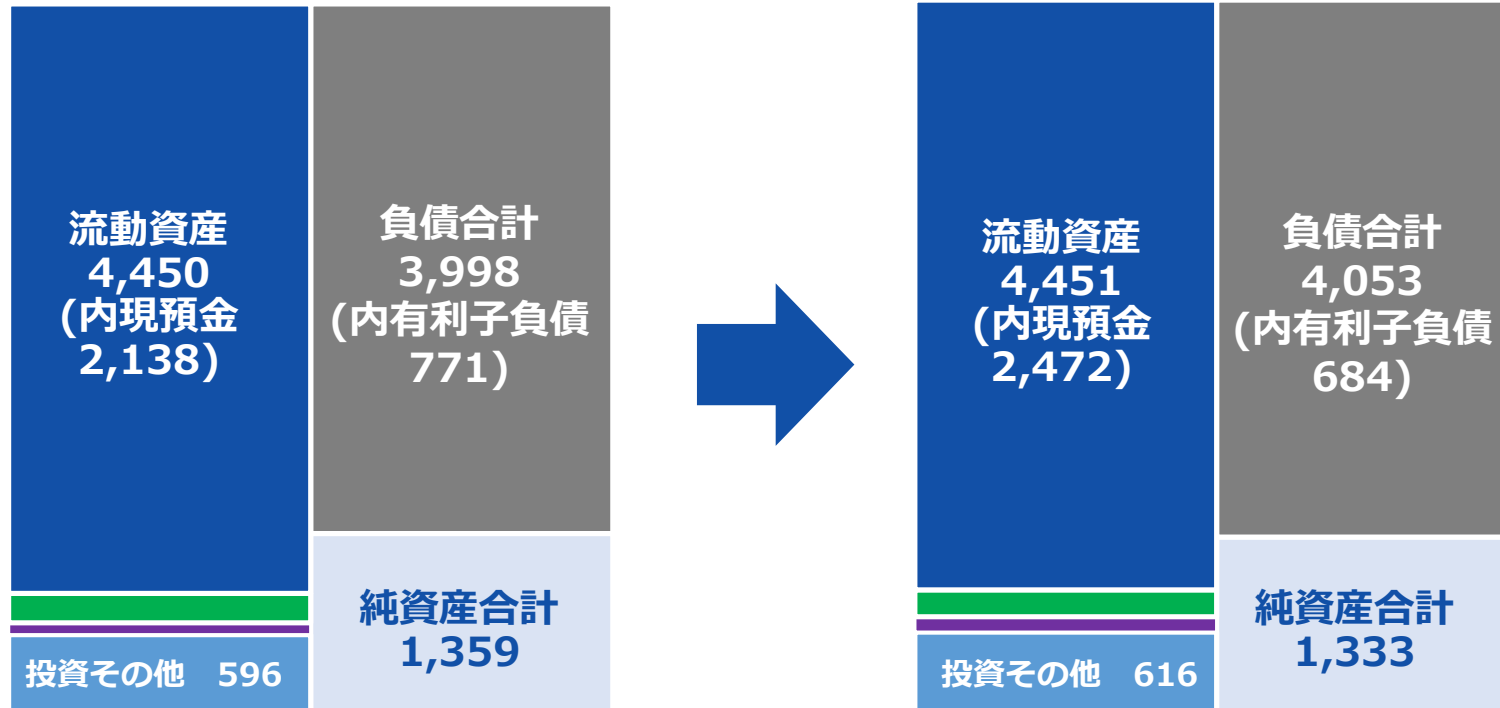
- 営業利益は前年同期比**89百万円減益**
- 研究開発への**継続的投資**

(単位：百万円)



貸借対照表（連結）

（単位：百万円）



■ 有形固定資産 221
■ 無形固定資産 89

2018年12月31日

■ 有形固定資産 203
■ 無形固定資産 115

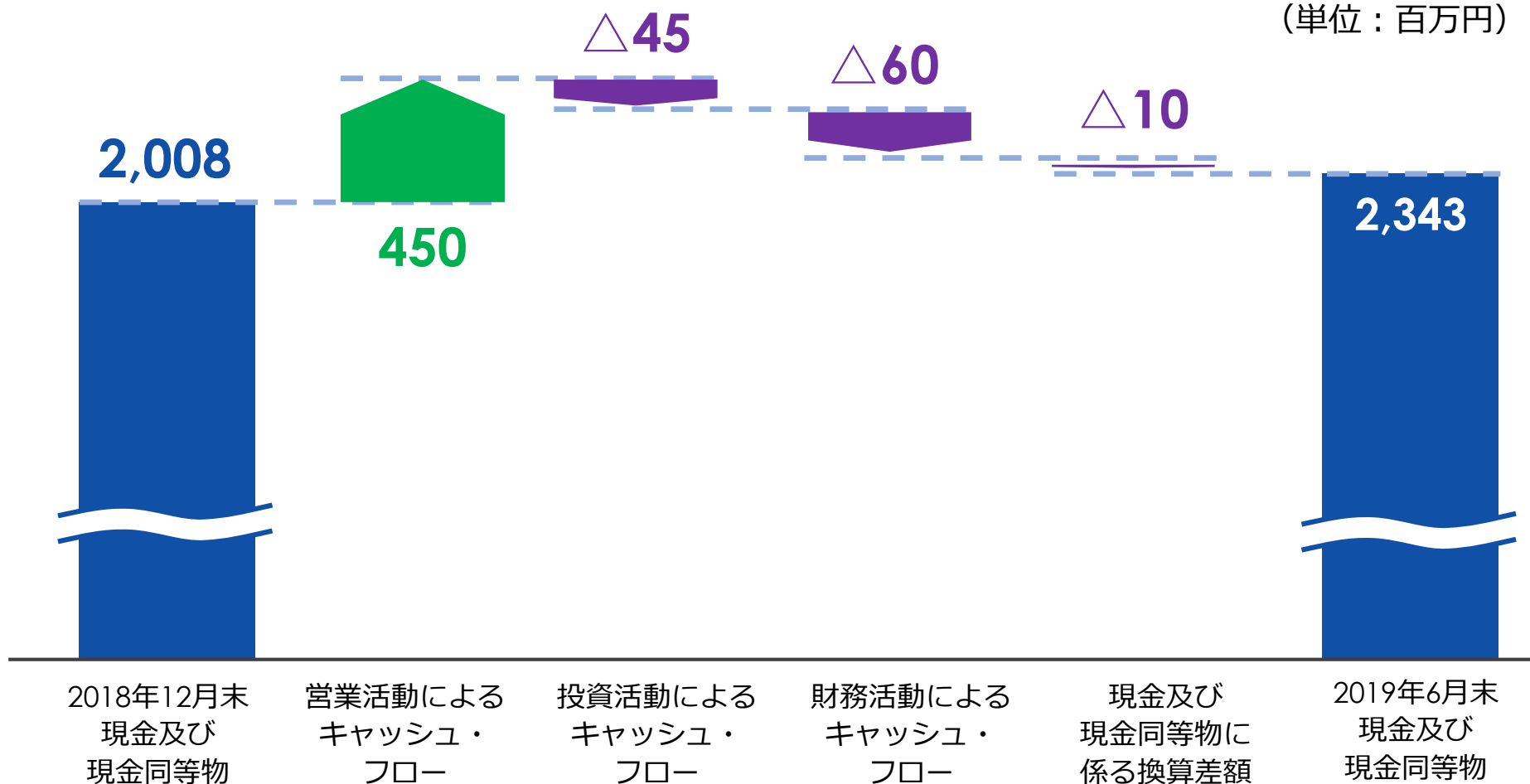
2019年6月30日

- 流動資産 : 普通預金333百万円増加
- 流動負債 : 前受金202百万円増加
- 純資産 : 15百万円減少

第2四半期 キャッシュ・フロー（連結）



(単位：百万円)

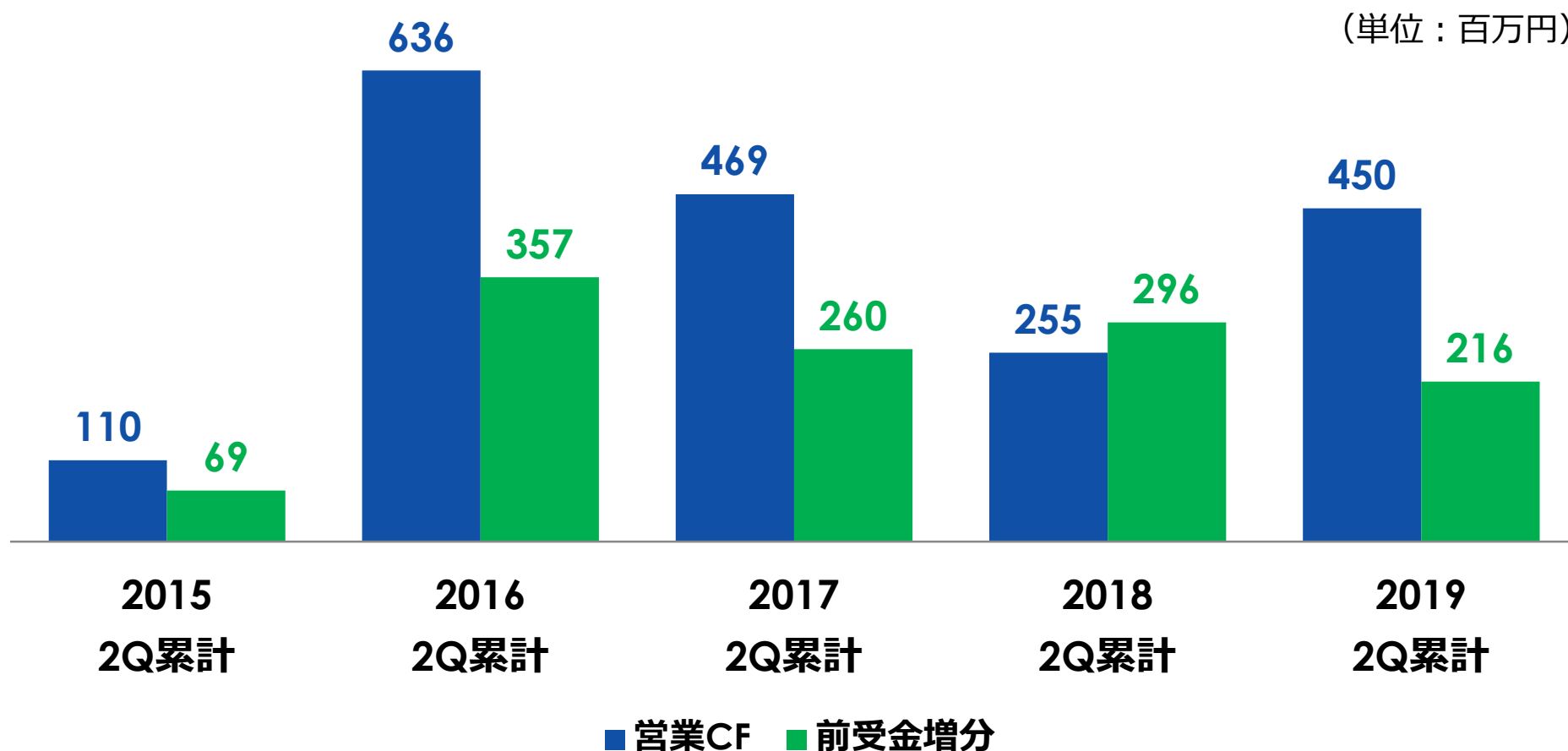


キャッシュ・フロー変動要因

	営業キャッシュフロー	投資キャッシュフロー	財務キャッシュフロー	その他
金額	+450百万円	△45百万円	△60百万円	△10百万円
構成	(+)売上債権 76百万円 (+)棚卸資産 77百万円 (+)仕入債務 86百万円 (+)前受金 216百万円 (△)未払消費税等 99百万円 (+)その他 94百万円	(△)無形固定資産取得 40百万円 (△)その他 5百万円	(△)長期借入金返済 66百万円 (+)その他 6百万円	(△)為替差損 等により、 10百万円減少

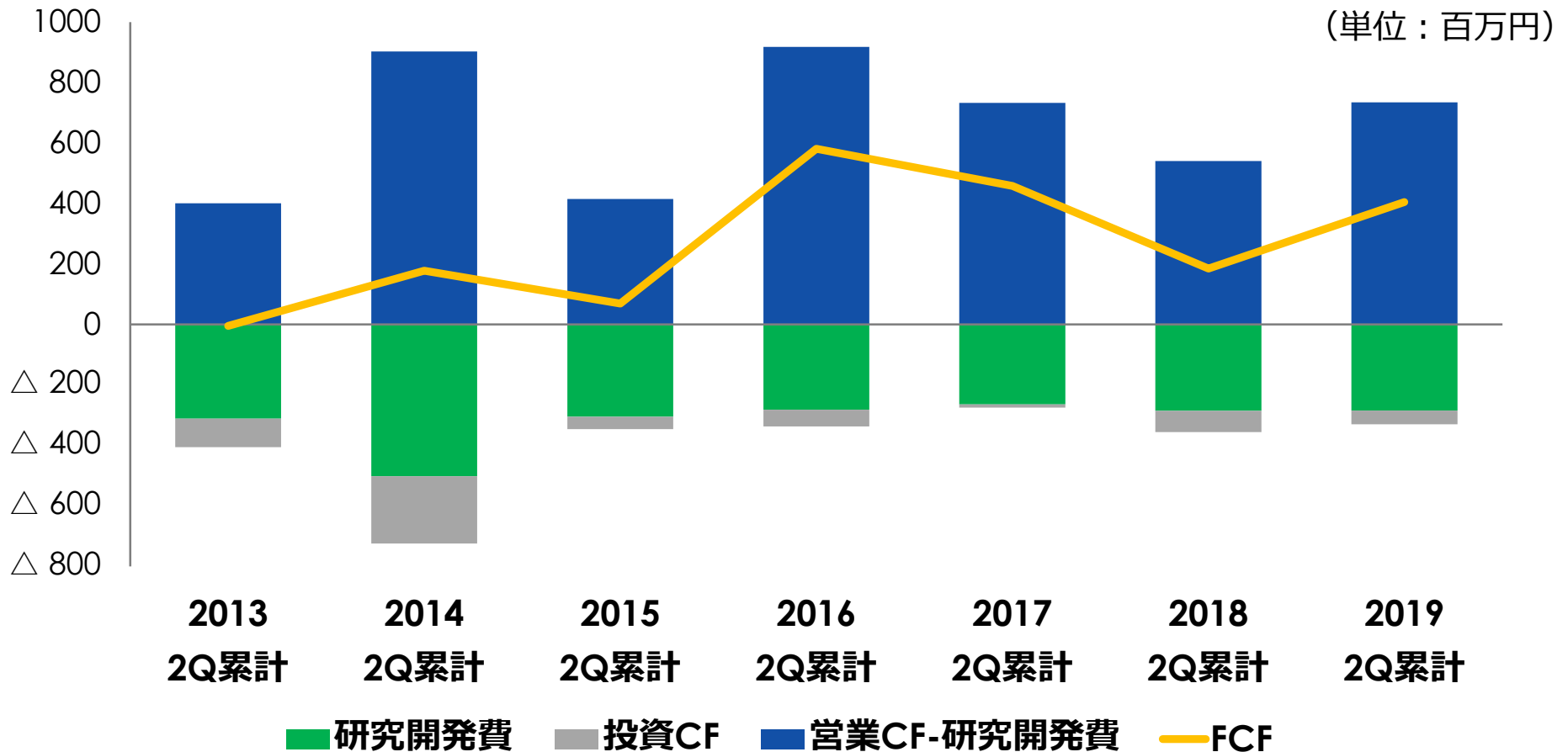
営業キャッシュフロー・前受金推移

潤沢な前受金により、営業キャッシュフローを下支え



フリーキャッシュフロー推移

安定したキャッシュフローを背景に、研究開発・投資活動を推進



オープンシステム基盤事業

売上高

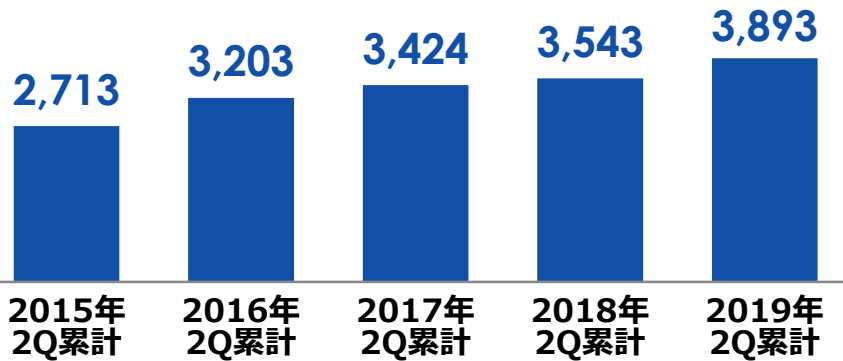
3,893百万円（前年同期比 9.9%増）

セグメント損益

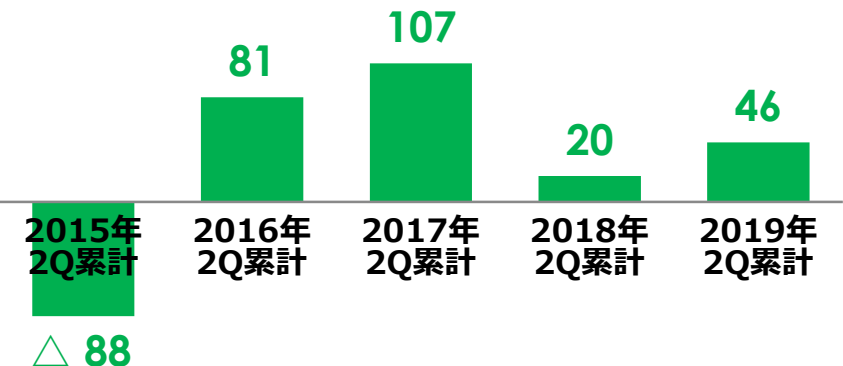
46百万円（前年同期比 128.2%増）

売上高

（単位：百万円）



セグメント損益



売上高

国内

- 当社主力製品の「LifeKeeper*」は**好調な増収**
- Red Hat, Inc.関連商品*の販売は**堅調な増収**

海外

- 「LifeKeeper」は**減収**

セグメント損益

- 既存の「LifeKeeper」に昨年12月に吸収合併した株式会社サードウェアの製品ラインナップを加えた事業継続ソリューションの業績が好調に推移したこと等により**増益**

※ 「*」を付した用語につきましては、27ページに解説を記載しております。

アプリケーション事業

売上高

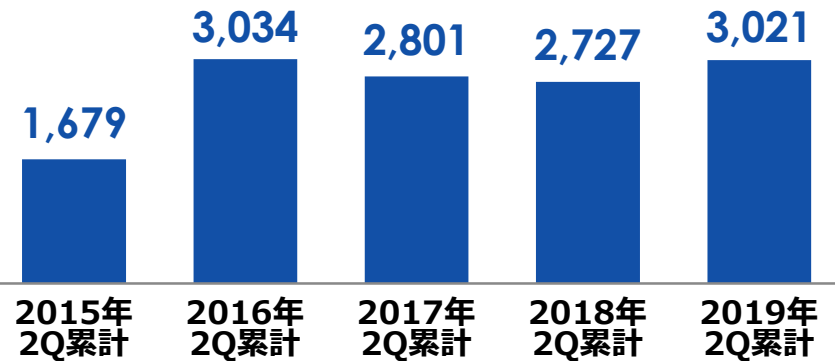
3,021百万円（前年同期比 10.8%増）

セグメント損益

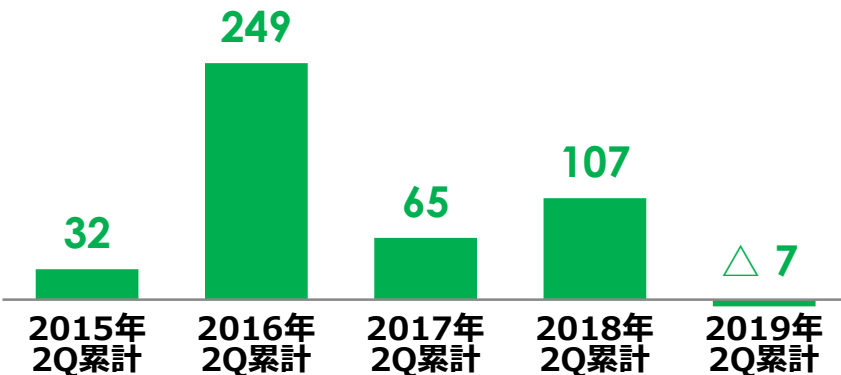
△7百万円（前年同期は107百万円の利益）

売上高

（単位：百万円）



セグメント損益



売上高

- 金融機関向けシステム開発・構築支援は**好調な増収**
- MFP向けソフトウェア*製品は**順調な増収**
- Gluegentシリーズ*は**順調な増収**

セグメント損益

- 金融機関向け経営支援システム販売を下期主体で見込んでいるため**減益**
- 金融機関向けシステム開発・構築支援における不採算案件の発生により**減益**

経営指標向上に向けて

中期経営計画における基本方針と経営指標



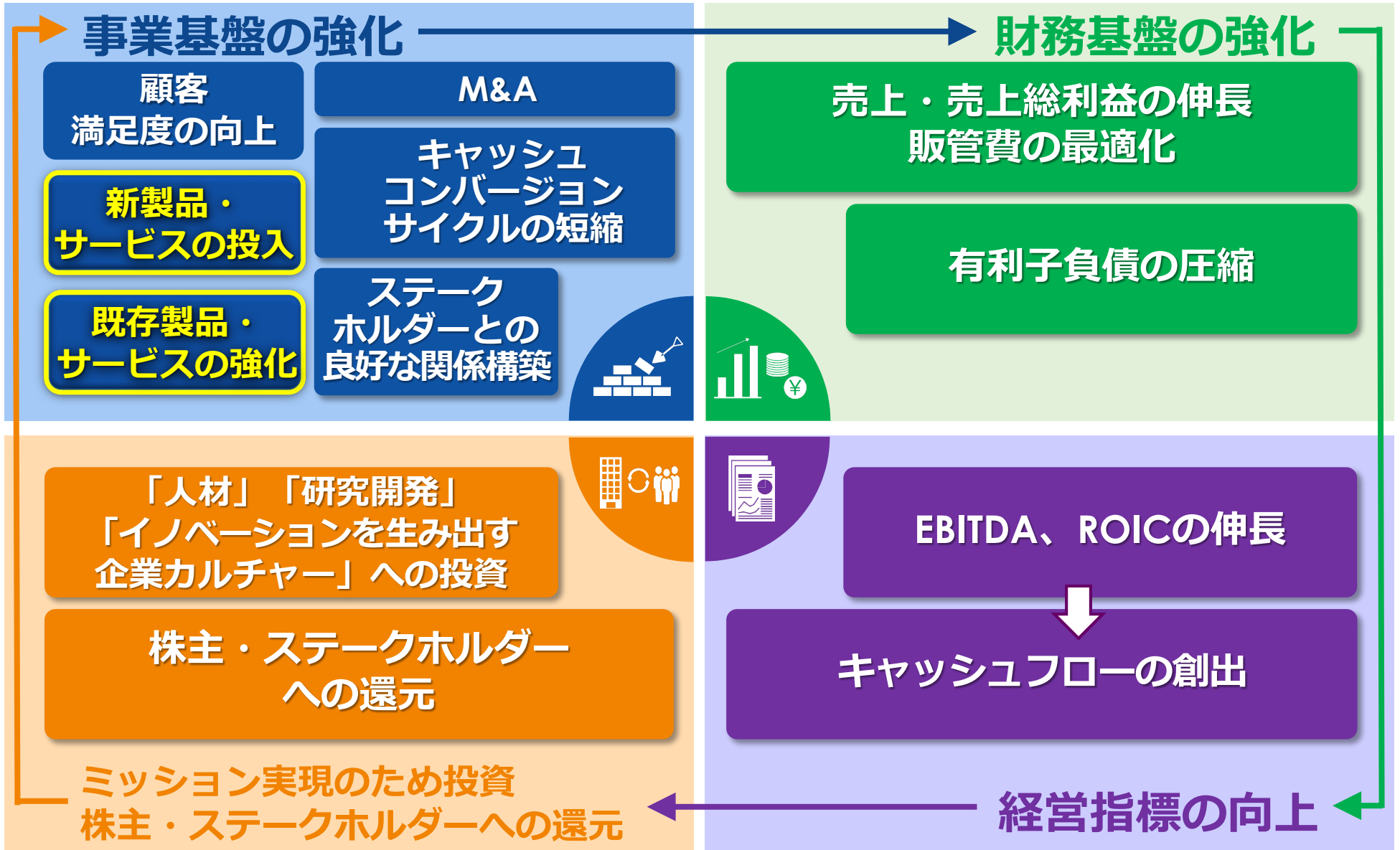
会社の経営の基本方針

当社グループは、「世界中の人々のために、不可能を可能に。」をミッションと定め、イノベーションによって人々の課題を解決し、より良い社会の実現に貢献することを経営の基本方針としています。

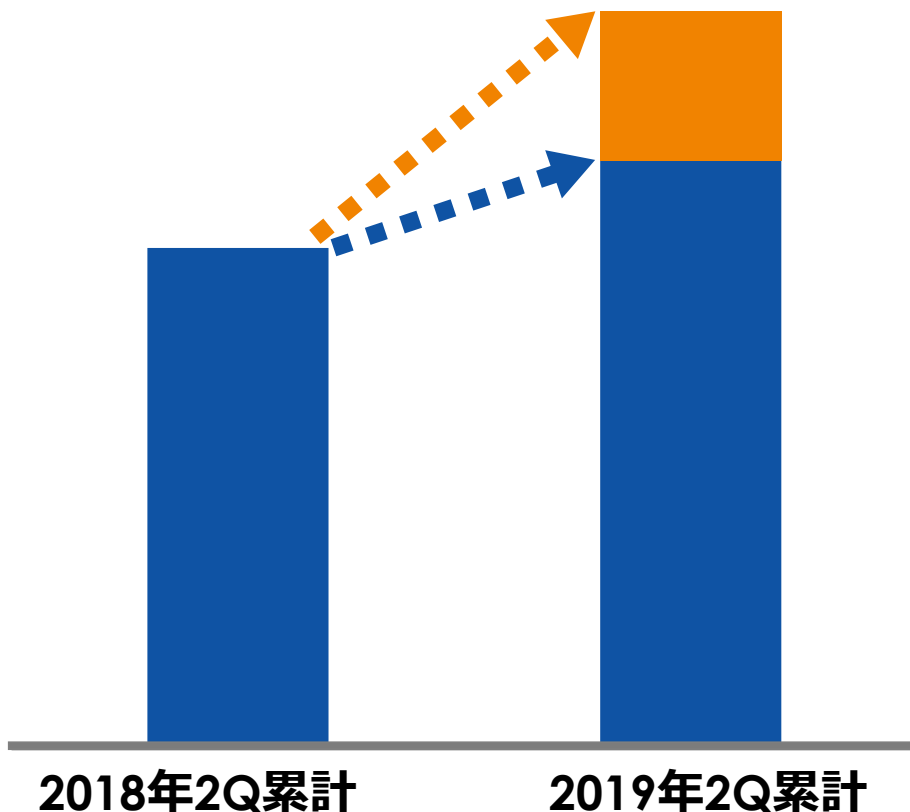
目標とする経営指標

当社グループは、継続的なキャッシュフローの創出のため、EBITDA及びROICを経営指標としております。キャッシュフローは、当社グループ成長のための源泉（Driving Force）である「人材」「研究開発」「イノベーションを生み出す企業カルチャー」への投資、及び株主・ステークホルダーへの還元の出発点とし、これらの活動を通じて経営の基本方針の実現を目指します。

ミッションの実現のために



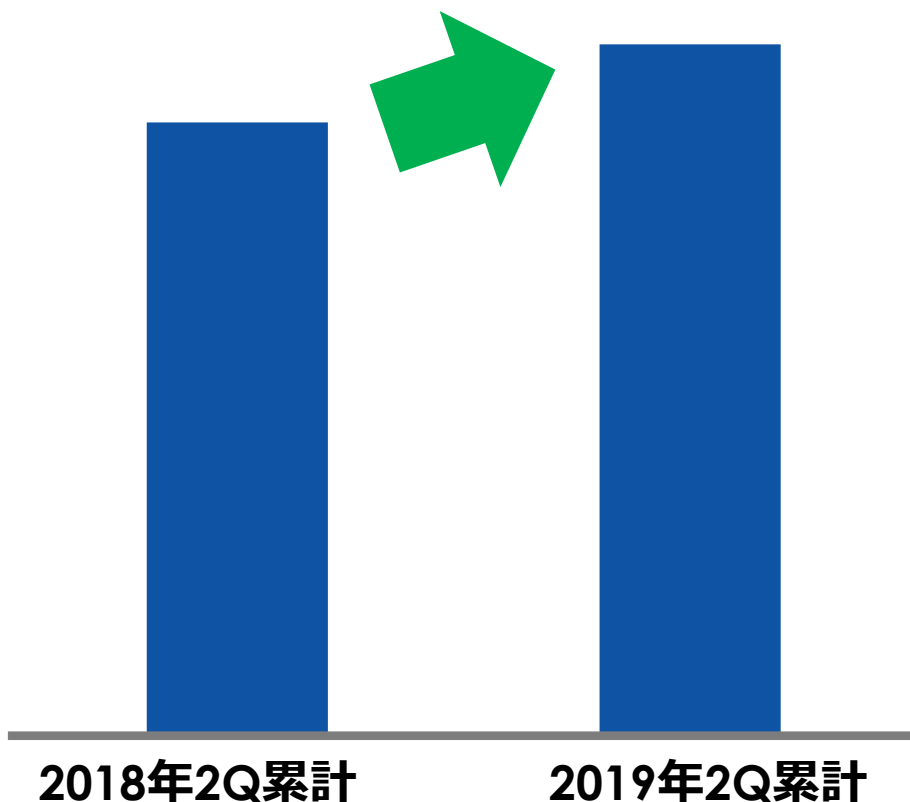
事業継続ソリューション(国内)
営業利益推移



昨年12月に吸収合併した株式会社サードウェアの製品ラインナップが加わり増収・増益に寄与

LifeKeeper等の既存製品も成長し、事業継続ソリューションの業績が好調

MFP向けソフトウェア製品 売上推移



前年同期は売上が
落ち込んだが、
販売パートナーとの
連携強化により回復

既存製品・サービスの強化

「AI秘密印検知サービス」の提供を 2019年9月30日より開始



LogキャプチャNX Plus*

◆従来の効果◆

- ・インシデント発生時の迅速な対応
- ・心理的抑止効果

New

AI秘密印検知サービス

◆付加効果◆

- ・インシデント発生を事前に察知

+

既存サービスの強化に加え、顧客満足度の向上に繋がる新サービスを積極的に提供することで、MFP向けソフトウェア製品の売上拡大を図る。

サービスイメージ



LogキャプチャNX Plus



AI秘密印文書検知サービス

社内にある文書から極秘、社外秘、マル秘などの秘密印をAI(人工知能)で解析し秘密印文書として検知し、管理者へ通知。

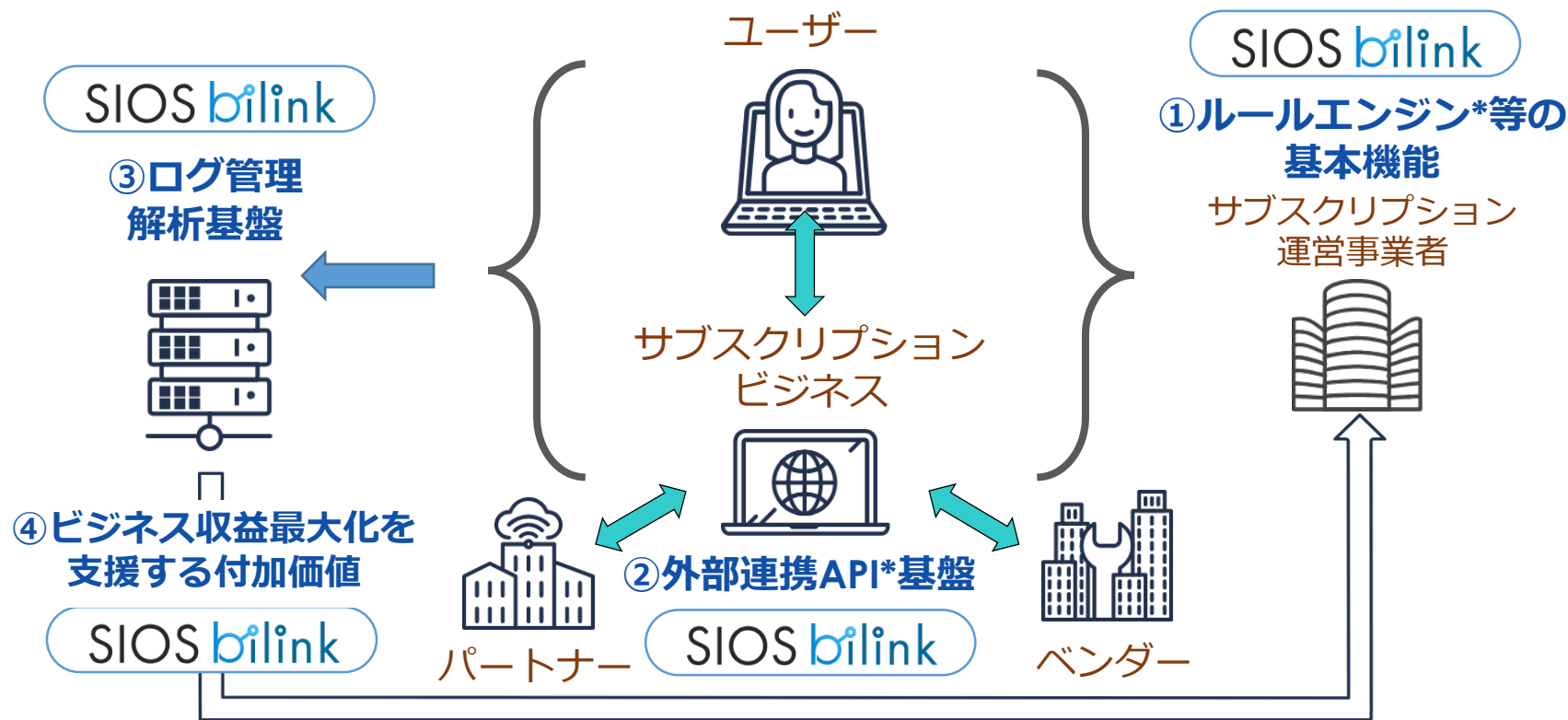
メールでアラート通知



ユーザー管理者様

SIOS bilink β版をリリース

サブスクリプション*型サービスを展開する事業者向けに支援プラットフォームを提供



あらゆるサブスクリプションビジネスを支援するプラットフォームサービスを目指す。

今期配当予想

現時点での業績予想を前提に、グループ会社からの配当と
当期純利益により1株当たり5.0円の復配を予定

	第22期 2018年12月期	第23期 2019年12月期
年間配当	0.00円	5.00円

通期業績予想

業績予想の変更について

2019年2月5日公表の業績予想から変更なし

上半期の減益要因に対する対応

金融機関向けのシステム開発・構築支援

【減益要因】

複数案件でプロジェクト遅延、追加コストが発生

【施策と今後の見通し】

遅延要因となったプロジェクト仕様・納期の受注前審査の徹底

【現状】

不採算案件は6月末で完了

下半期は収益回復の見込み

金融機関向け経営支援システム販売

上半期は減収減益であったが下半期は増収増益の見込み

2019年12月期 通期業績予想



(単位：百万円)

	19年12月期 1-2Q実績	19年12月期 通期業績予想	進捗率
売上高	6,914	13,200	52.4%
営業利益	38	200	19.0%
経常利益	70	210	33.3%
親会社株主に帰属する 当期純利益	△20	140	—
EBITDA	82	300	27.3%
ROIC(年率換算)	2.4%	6.4%	—

Appendix

サイオスについて



SIOS is Innovative Open Solutions

本社	東京都港区南麻布2-12-3 サイオスビル
資本金	1,481百万円
設立	1997年5月23日
社員数	連結440名 (2018年12月31日現在)
主な 連結 子会社	サイオステクノロジー (日) SIOS Technology Corp. (米) グルージェント (日) キーポート・ソリューションズ (日) Profit Cube (日)

サイオスは、Linuxに代表されるオープンソースソフトウェア、AI、クラウド、金融技術に卓越した強みを有するテクノロジー企業群を子会社に持つ東証二部上場の持株会社です。

「世界中の人々のために、不可能を可能に。」
をグループミッションに、
イノベーションによって
人々の課題を解決し、
より良い社会の実現に
貢献してまいります。



項	用語	説明
11	LifeKeeper	本番稼働のサーバーとは別に同じ環境の予備サーバーを待機させ、万が一の障害の際には自動的に予備サーバーに業務を引き継がせる役割を担うソフトウェア。
11	Red Hat, Inc.関連商品	オープンソースソフトウェア&サービス・プロバイダーRed Hat, Inc.が開発するオープンソースの製品。
12	MFP向けソフトウェア	プリンタ、スキャナー、コピー、ファクス等複数の機能を搭載した機器をMFP(Multifunction Peripheralの略)という。MFP上で利用できる文書管理ソフトウェア「Quickスキャン」「Speedoc」等。
12	Gluegentシリーズ	子会社グルージェントのサービス。IDの管理をクラウドで行うサービス「Gluegent Gate」をはじめ、Google Calendarにチームメンバーの予定管理機能等を付加した「Gluegent Appsグループスケジューラー」等、企業におけるクラウドを利用した業務効率化等を支援するサービス。
18	Logキャプチャ NX Plus	子会社サイオステクノロジーのMFPソフトウェア製品のひとつ。複合機で利用者が行なったコピー、ファクス送信、プリント、スキャンの内容を画像ログおよび操作ログとして保存することが可能。
19	サブスクリプション	クラウドで提供されるSaaSサービス等において、利用期間に応じて課金するビジネスモデル。
19	ルールエンジン	物事の判断過程（こういう場合にこうする）をプログラム化して実行するシステム。
19	API	Application Programming Interfaceの略語。OS（オペレーティングシステム）やソフトウェアなどの機能や管理するデータなどを、外部のプログラムから呼び出して利用するための手順やデータ形式などを定めた規約のこと。

ご留意事項

業績予想につきましては、現在入手している情報に基づいた当社の判断であり、不確定要素を含んでおります。実際の業績は、様々な要素により業績見通しとは異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与え得る重要な要素には、当社の事業領域を取り巻く経済情勢、市場の動向などが含まれております。但し、業績に影響を与え得る要素は、これらに限定されるものではありません。

本件に関するお問い合わせ

サイオス (IR)

Tel : 03-6401-5111 (代表)

Webによる場合はこちらからお問い合わせください

https://mk.sios.com/SIOS_Inquiry.html



SIOS